



8・15 全国一斉国会前行動 千葉県本部 (JR幕張駅前)

国民の声「国葬」は中止を！ 請願署名・会員拡大を強めよう

新型コロナウイルス第7波による感染が急拡大しています。国内感染者8月27日現在、1839万1386人。1週間の新規感染者は141万2594人、5週連続で100万人を突破。岸田政権の無策の証明であり、抜本的な対策を強く要求するものです。安倍元首相の「国葬」中止を求める著名な学者や作家、文芸評論家など17氏が呼びかけたオンライン署名賛同者は15万1050人を超えています(9月2日14時)。東京、神奈川、群馬、京都、兵庫の弁護士会は27日までに反対声明を発表。法律家グループ「23期・弁護士ネットワーク」の118人は反対声明を発表しました。岸田改造内閣の支持率が急落しています。自民党をはじめとした政治家と霊感商法などの反社会的活動が指弾されている統一協会(世界平和統一家庭連合)の癒着問題です。閣僚19人中7人が関係認め、副大臣・政務官の11人が関係を認めています。さらに、自民党閣僚は全員が靖国派議連の加盟者です。

立憲民主党、国民民主党、日本共産党、れいわ新選組、有志の会、社会民主党の6党・会派は、衆議院議員126人連名で、山積する諸課題に対応するために憲法53条に基づく臨時国会の召集書を細田博之衆議院議長に提出しました。

物価高対策、豪雨災害対策など、国民の要求実現めざして、臨時国会を早期に開けの声を大きく上げようではありませんか。国会請願署名、会員拡大の取り組みを強めましょう。



No. 579

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟

編集発行人 田中幹夫

〒113-0034 東京都

文京区湯島2-4-4

平和と労働センター・全労連会館

電話 03(5842)6461

FAX 03(5842)6462

E-mail

chian@bz03.plala.or.jp

頒価 50円

主な記事

- 8・15一斉宣伝行動……………2
- 私も一言/木嶋日出夫……………3
- 顕彰碑/幸徳秋水……………5
- 抵抗の群像/徳永直……………6
- 同盟文芸/短歌・俳句・川柳……………7

私言

女子中学生・「伊藤千代子さんの力強く何事にも屈せず明るく生きた姿が、とても心強く心に残っています。これが実際に起きていたとは、とても衝撃ですが、勇気をたくさんもらいました」

(映画「伊藤千代子」長野県実行委員長・弁護士)

感動と生きる力を与えた映画「伊藤千代子の生涯」

木嶋日出夫

鑑賞して欲しい」との感想が沢山よせられています。



伊藤千代子のふるさと長野県では、4月から6月上旬までの短期間に、県下39会場・54回の上映会が行われ、4858人

高齢男性・「伊藤千代子の生き方に励まされました。84歳。残りの人生、がんばります。」自由モノが言えない時代のなかで、権力の暴虐に屈せず、民衆の暮らしと平和のために命をかけて闘い抜いた千代子の生き様は、大きな感動を与え、「もつと沢山の人の鑑賞して欲しい」との感想が沢山よせられています。

ました。

埼玉

埼玉での市民と野党共闘の要の役割掲げ

(2ページからつづく)
りをはかる決意など6人が発言。「国葬」に反対し、「改憲発議を許さない」特別決議を採択。新役員は白根澤澄子会長(新)、瀬野幸男事務局長を選出しました。(県本部事務局・瀬野幸男)

矢島恒夫会長の情勢報告を兼ねた挨拶、大野辰男事務局長からの理事会、岩田治樹副会長からの財政などが報告され、質疑も兼ねた活動交流が活発に行われました。特に、今年の4月から開始された埼玉県内13カ所、3686人の鑑賞者まで広がった映画「わが青春つぎとも」伊藤千代子の生涯の県内各地の上映運動の熱い発言は、感動に包まれました。また、上映運動と一体に、取り組まれた



支部作り、会員拡大でも3年前の第39回全国大会当時掲げた350人目標を今年の3月に達成し、その後も連続的に毎月過去最高の峰を更新し続ける勢いある発言が続きました。埼玉では、掲げた30カ所50

大阪

会員みんなより強い国賠同盟運動を

00人上映運動もすでに20カ所まで開催計画も広がり、目標の峰も確実に視野に入ってくる討論となりました。役員改選では、長きに渡り会長として奮闘された矢島恒夫会長(91)がこの総会で退任され、新しく次期会長に加藤ユリさん、大野辰男事務局長は留任。理事の総数は、過去最高の35人・女性理事も9人となりました。(県本部事務局・大野辰男)

7月23日、コロナ感染が爆発的に広がる中、第41回大阪府本部大会が開催されました。大会直前に逝去された柳河瀬精名名誉会長など物故者に黙祷が捧げられました。続いて、友好団体の日本国民救援会から姫野浄さんと参議院選挙大阪選挙区で奮闘されたタツミコータローさんから連帯の挨拶を頂きました。次いで大石喜美恵会長がウクライナ情勢、国内情勢と国賠同盟運動の現状を踏まえた挨拶で、会員みんなより強い国賠同盟運

(4ページにつづく)

8・15終戦記念日一斉宣伝

84カ所・362人参加 8万枚余のビラ配布



池袋駅西口で訴える山添拓参議院議員

全国では、84カ所で宣伝、362人が参加、ビラ配布は8742枚で昨年より関心が高い。千葉県は今年初めて駅頭で7人参加。青森は弘前で共同16人参加。秋田県は、34人参加の内11人参加4人がマイク宣伝。千葉県本部は4年ぶりの宣伝13人参加。東京は、8・15ビラに入会申込書を刷り込み、2人が入会、ビラを見て入会申し込み1人、計3人が入会。山梨県本部は、新しい支部が宣伝、4カ所。

行動したところでは、激励もあり、ビラのうけとりもよかった。

コロナと猛暑で中止県もあった。



東京・中野駅

各県本部の大会・総会

指導部の若返りと会員拡大に全力で

山形 第36回県本部大会が7月30日、10支部から代議員33人が参加して開催。高橋嘉一郎県本部会長のあいさつ、最上健造中央本部副会長、本間和也共産党県委員長の激励のあいさつ、救援会・県労連からのメッセージが紹介されました。議事では、瀬野事務局長が①役員・指導部の若返りと会員拡大②全会員による署名活動③存命の犠牲者が亡くなるうとしている「転換期」を迎え、「今、何故、国賠運動か? 国会請願か?」の学習運動の推進④「闘いと抵抗の歴史」を風化させない活動、「村山俊太郎とひでの顕彰碑建設」募金活動⑤映画「伊藤千代子」の上映運動と会員拡大⑥地方議会への請願の推進を提案。討論では、コロナ禍での署名運動や会員拡大の取り組み、参議選や町長選を取り組んでの市民と野党共闘の展望、組織と運動の若返

(3ページにつづく)



安倍晋三元首相の「国葬」に反対の声が広がっています。岸田政権は、安倍氏の首相の在任期間の長さや業績を理由にあげています。「モリ、カケ、サクラそして統一教会」の悪行を忘れたかのように「国葬を行う法的根拠となる規定はない」として東京、神奈川、群馬、京都、兵庫の5弁護士会は撤回を求める会長声明を発表。強行すれば「財政民主主義の原則」「思想信条の自由」に反すると警告▼東京大学名誉教授の上野千鶴子さんや法政大学前総長の田中優子さんから著名人ら17人が呼びかけて「安倍元首相の『国葬』中止を求めます」のアピールを出し、全国で反対の声をあげようとの呼びかけに賛同署名が広がっています▼国葬には約2億5千万円、警備を含めると30億円もの血税が。総がかり行動実行委員会をはじめ全国45の団体が共同して「安倍元首相の『国葬』に反対する実行委員会」が発足。反対の声を大きく広げ中止に追い込みましょう。(鶴)



京・市ヶ谷刑務所で絞首刑となりました。完成した碑は高さ2・2メートル、幅1・6メートル

「絶筆碑」は博物館のすぐ近くに設置されています。交通の便は中村駅から3キロ車で12分となっています。為松公園は高台にあり車道が狭く運転は要注意です。
(連絡先 県本部事務局・森岡幸一 Tel 0888・845・0072)

高知県四万十市出身、社会主義思想家・幸徳秋水生誕150年・刑死110年にあたる昨年、11月3日に秋水墓のある浄土宗正福寺境内で秋水2つ目の顕彰碑「非戦の碑」の除幕式が行われました。この日は県内外の関係者ら130人が集まり秋水が希求した平和への思いを誓いました。

顕彰碑 ||||| 探訪

幸徳秋水「非戦の碑」除幕式

ル、平民新聞に掲載した「吾人は飽くまで戦争を否認し之が防止の絶叫せざる可らず」などの社説の一部がぎざまれている。正福寺までの道案内は土佐くろしお鉄道中村駅から1・9キロ、車で4分の距離にあります。

幸徳秋水に関する資料展示は四万十市立図書館秋水文庫(四万十市役所内)、四万十市郷土博物館に所蔵されています。博物館は為松公園内にお城を模した建物として建造され、展望台からは四万十市市街地が一望でき、四万十川の清流を眼下に見る事ができます。

なお、秋水の1度目の顕彰碑

(3ページからつづく)
動を継続しようと訴え、特に「国葬」について反対の意味を強く訴えられました。続いて大会役員の任命、議案の上程があり、甲斐事務局長が活動報告とこれから一年間の運動方針を提案。佐野副会長から決算、予算の説明がありました。

活発な討論の後、新年度役員の提案が全員一致で承認されました。「国葬」に関する特別決議を全員で確認しました。大石喜美恵会長と甲斐富貴雄事務局長は留任。(県本部事務局・甲斐富貴雄)

秋田 継承のために「闘いと抵抗の歴史」を学ぼう

県本部は7月24日、第33回定期総会を開きました。

「コロナ禍」のため3年連続の規模と時間の縮小会議となりました。県役員と支部代表の32人が参加しました。

最初に近江谷昭二郎元会長ら物故者への黙祷を捧げました。

来賓の共産党県委員会副委員長加賀屋千鶴子県議は、佐竹知事の憲法改悪、軍備強化の危険な発

言を批判し、県は全ての自治体が

「非核平和宣言」をしていること、「戦争のない国づくり」「党創立百周年の意義」について挨拶されました。「吉田会長のご挨拶」を朗読し紹介しました。県本部は、次代への継承のために「闘いと抵抗の歴史」を学び、先人の業績を発掘、顕彰する重要性を訴え、また困難はあるが野党共闘実現への努力を呼びかけました。会員拡大と署名の意義と目標を提起しました。映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」の取り組み、全国大会参加の感想など5人が発言しました。

会長は最上健造、事務局長は藤田精士を再選しました。(県本部事務局・藤田精士)

岐阜 中濃支部300回を 越える街頭活動

岐阜県本部は、8月6日県本部大会を、関市のアピセ関にて開催しました。

参議院選挙の影響で準備時間が限られ、また中嶋会計担当常任理事の急死というアクシデントのため困難でしたが、代議員の努力で

成功しましたと片桐会長が挨拶でのべました。コロナ禍のなか代議員81%の出席、14人の積極的な発言で提出議案の不十分な点を補い深められました。

黄色い署名集めで先進的な岐阜支部村瀬代議員、中濃支部交代代議員などの経験、政治を正す運動で中濃支部山田代議員の300回を越える街頭宣伝活動、世代継承を進める上での若い仲間を増やす努力をと岐阜支部小澤代議員、更に河田・高井代議員などの発言で深められました。

中嶋会計担当理事の後には森島・赤星の複数担当で解決します。会長に、片桐義之、事務局長に赤星守雄を再選し、総会を終了しました。

(県本部事務局・赤星守雄)

滋賀 会員増やし、署名の 更なる飛躍を目指す

第37回県本部総会を7月23日開催しました。岡村会長が安倍元首相の国葬に反対する意思表示をすることが大切であると挨拶し、日本共産党春名県委員長から衆・参議院で改憲勢力が3分の2となった

本の紹介

告発・戦後の特高官僚



世界情勢の動きがアメリカの対日支配を微妙に変化させる中、戦前の特高官僚たちが続々と復活し各地の教育委員長や国会議員になって、日本の民主主義作りを「右へ右へ」と捻じ曲げて行った過程を書く。

2005年に刊行され大変評判を呼んだ本ですが、17年の歳月は世代の交代にもあたりますので、若い人たちにも広く普及したくて再刊しました。現在の情勢をより深く理解する上で、必読の書です。

治安維持法同盟の会員の皆さん、是非子どもさんやお孫さんに勧めて下さい。また、広く学習会を組織して下さい。

柳河瀬精著
定価(本体1714円+税)
日本機関紙出版センター
06・6465・1201



たが改憲を許さない闘いが今後重要であると挨拶を受けました。

総会では「伊藤千代子」映画上映の報告が出され、感想や取り組んだ意義が議論となりました。

2回のランチ会報告がありました。ランチ会は会員同士の繋がりを広げ会員拡大に成果をあげています。女性部のランチ会を支部空白地域で開催し支部建設を目指そうとの意見ができました。次期総会に向けて会員増やし、署名の更なる飛躍を目指す事を確認しました。その突破口に「伊藤千代子」映画を県内で上映する事にしました。

総会は2本の特別決議を採択。会長に岡村正弘、事務局長に森岡幸一を選出しました。

(県本部事務局・森岡幸一)

東京山宣会ブックレット「唯生唯戦」



山宣の39年の生涯と死後の顕彰を中心に編集。「唯生唯戦」(ゆいしょうゆいせん)とは、山宣が好んで書いた造語で、「ひたすら生きひたすら戦う」の意。2019年に神田神保町にたてられた「山宣終焉の地」のプレートを表紙に、プレートの経過、十代後半の山宣が労働者デモや「共産党宣言」初訳が掲載された「社会主義研究」の購入等山宣の思想形成、現在の中国や韓国の高校生が山宣をどう学んだかの授業実践、山宣の葬送行列を描いた2枚の大作油絵の評価と行方、山宣を詠んだ親族の短歌、東京での山宣ウォークの四コースの案内など新しい視点も加わる。自主出版でA5判110ページ、ワンコイン(500円)+送料実費。

連絡は東京山宣会・永島(090・2530・8024)まで。

抵抗の群像



時局への迎合と決別し戦争と権力を批判した徳永直

徳永直

徳永直（とくなが・すなお）は1899（明治32）年、熊本県飽託郡花園村（現熊本市西区）の貧農に生まれた。小学校6年途中で小さな印刷所に見習工として働きに出され、以来、文選工として「少しでも高い賃金を求めて」九州日日新聞社、熊本毎日新聞社などを転々とした。また米屋の丁稚、煙草専売工場につとめ、1919年熊本電気会社の阿蘇黒川発電所の見習い工になる。

この頃から無政府主義に傾倒していた友人の影響を受けて、文学書などを読み漁るようになった。また数名の仲間と労働問題懇談会を結成。労働問題演説会を計画し、その演説会案内の手書きポスターを張って警察に検挙され、発電所も解雇された。

「印刷技友会」の結成に参加

同年、徳永は再び九州日日新聞

社の文選工になり、ここで熊本最初の労働組合と言われる「印刷技友会」の結成に参加。またこの頃、新人会熊本支部の五高学生らとも交流し、マルクス主義を学ぶ。

1922年上京し、博文館印刷所（のちの共同印刷）の植字工となり、出版印刷従業員組合の創立に参加し、久堅（博文館）支部の責任者となる。この頃から小説などを書き始め、組合の機関誌に投稿した。

24年の博文館争議では組合幹部として活躍し、勝利に貢献。つづく26年の歴史に残る「共同印刷大争議」でも評議会出版労働組合の指導幹部として共同印刷経営陣と対峙。組合を代表する交渉委員として頑強にたたかった。しかし、60日間に及んだ大ストライキ闘争も警察や暴力団まで総動員して襲いかかってきた経営側に押し潰さ

れ、千八百人の全員解雇という形で敗北した。

小説『太陽のない街』を発表

29年、共同印刷大争議の経験を小説『太陽のない街』として『戦旗』に発表。それが川端康成の目に留まり『文芸春秋』で「徳永直氏の『太陽のない街』は今日のプロレタリア文学が持ち得る、最高の典型の一つ」と絶賛。劇化され、外国語にも翻訳されるなど小林多喜二の『蟹工船』とともにプロレタリア文学の代表作となり、一躍、プロレタリア作家として注目されることとなった。

以来、徳永はプロレタリア作家としてのみ評価されてきたが、川端康成が前出の引用部分に続けて「共同印刷の大争議を描いたものだが、争議をこれほど全幅的に、あらゆる側から詳細に展開して見せたということだけでも、記念すべき作品であろう」と述べているように、それは徳永が大争議の全局面に関わって指導し、活動したことの証左でもある。徳永は労働運動の優れた指導者としても評価されるべきである。

生活に根ざした作品を書く

29年にナツプの協議員、『文学新聞』の編集員など奮闘したが、32年頃から弾圧が強まる中で転向した林房雄の言動や、小林多喜二の虐殺などで動揺し、33年「創作方法上の新転換」で蔵原惟人らを批判。ナツプも脱退し、37年には『太陽のない街』の絶版を宣言した。

以後、従軍作家となって一時期、時局に迎合する作品を書くが、38年ごろから働く人々の生活に根ざした作品を書き、また戦時下の日本の活字文化を探る『光をかかぐる人々』を執筆し、戦争と権力を批判した。

敗戦後は、『妻よ眠れ』『日本人サトウ』などの秀作を発表、新日本文学、勤労者文学などの発行、普及に努め、また『太陽のない街』の絶版宣言の誤りを反省し、日本共産党に入党し、松川事件などへの救援活動に参加した。1958年2月、病没、59歳でした。（熊本県本部発行『改訂・地下水その噴き出するを願って』より転載、加筆修正）

同盟文芸

短歌

碓田のぼる選

「かあさんは夕飯つくって わたしビラ折る」 残暑に燃ゆる沖縄知事選 沖縄県 塩田 伸子
国葬など民の誇りは許せない「サクラ、モリカケ」 大阪府 丸尾ことよ
税の吸血鬼 岩手県 小杉 正夫

「国葬」を当然視して走りいる新内閣の危うき所業 虚偽答弁重ねて国政蹂躪せしをどの口が言える国葬 などと 岐阜県 田中 良

総理を辞め議員も辞めるべき人を国葬にして帳消しにするか 大分県 渡辺 幹生
関係を知らなかったなどとシラを切る統一教会に揺れる保守派は 岐阜県 和田 昌三

明治維新より七十七年戦さの世 戦後同年 不戦は 九条 埼玉県 細谷 宜朗

筆ペンで「世界平和」と短冊に書き込む日本に來た ウクライナ人 島根県 小玉 信恵
政権はカルト汚染を省り見ず汚れし人が居座る人事 埼玉県 福家 駿吉

わが足で歩けるかぎり同盟の一員とし会議に参加するを決意す 静岡県 江川 佐一
（選のあとに）今月の投稿歌は国葬とカルトにまみれた政権への批判で渦巻いた。塩田作品は平易ながら「燃ゆる」沖縄知事選を現実感をもって表現。丸尾作品は、矛盾をかかえた新内閣は長くないと。

俳句

望月たけし選

炎天の天へ拳や九条守れ

「どうか署名を」 九条ブローチ夏シヤツに 埼玉県 小池 荘八
生き抜いて非戦語り部卒寿夏 東京都 岡崎たかね
キーウ夏父戦場へ送る母子 東京都 今井まさ子

日よ風よ夏いっぱいの党百年 三重県 橋本しげる
《評》戦争する国になってしまふ。憲法九条を変えさせないという信念が、どの句にも生きていました。多様な活動の中から、さらに新鮮な俳句表現が生まれることが期待されています。

川柳

鈴木いさお選

軍拡でナショナリズムを掻き立てる 北海道 三隅 雅彦
《評》ナショナリズムを煽って、またあの忌まわしい時代へ逆戻りしようとするのでしょうか。困ったものです。素晴らしい「統一」汚染内閣だ

廃絶に思考停止の抑止論 大阪府 佐々木雅博
くやしさをバネに9条離さない 埼玉県 福家 駿吉
アベさんを国葬にする馬鹿な国 大阪府 大和 峯二
兵庫県 岸本 守

沖縄県同盟の総力を発揮し、県知事選挙を必ず勝利する！

県知事選挙が9月11日投票で闘われている。「辺野古新基地ノー、沖縄を2度と戦場にさせない！」と「オール沖縄」が総力をあげ玉城デニー知事の再選をめざす。

自公がかつぐ佐喜眞氏は辺野古移設を容認、「オール沖縄」分断をねらう下地氏は普天間基地の軍民共用と馬毛島への訓練移転を明確にした。両氏とも旧統一協会との深い関係も明らかになっている。今年は復帰50年、事件、事故、騒音が相次ぎ、自衛隊の「南西シフト」が奄美から宮古・八重山まで琉球弧全体ですすんでいる。

「土地規制法」で自衛隊基地などの周辺で土地所有者や利用状況を調査、情報保全隊の監視活動が強まる。命と平和を守りぬくデニー知事の再選を何としても勝ち取る。

県同盟は8月6日に小田中央本部副会長を迎え総会を開催、同盟建設とともに、知事選挙、普天間基地をかかえる宜野湾市長選挙（知事選挙と同日投票）県都那覇市長選挙10月投票に全力を尽くす。（県本部事務局長・村山純）

映画「わが青春つきるとも」
上映運動コーナー

同盟運動の真価発揮・前人未到の350会場へ

映画「わが青春つきるとも」伊藤千代子の生涯」は、4月からの第1次上映運動・204会場で37、253人が鑑賞。7月からの第2次運動に引き継がれ350会場まで拡大。全国の同盟組織と民主共同の力で前人未到の運動にまで前進しています。

「獄中最後の手紙を見る」
8月28日、苫小牧市立図書館で開催。吉田万三会長が記念講演しました。訪問ツアー団に北海道からの参加者、全国オンライン参加者



図書館で伊藤千代子の手紙を見学

070・507
5・8263
映画パンフ好評
増刷に 上映会
場で「映画パン
フ」活用を開始、
各地で完売。頒
価 700円

第31回全国女性交流集會に全国からご参加ください！

日時 2022年11月6日(日) 午後1時開会

11月7日(月) 午前9時分科会

会場 ニューウェルシティ湯河原

記念講演 リアルに学ぼう！ 情勢、ジェンダー平等(仮)

現職国会議員に要請中 詳細決まり次第、申込書を都道府県本部に送ります。

【訃報】 水谷安子氏死去



治安維持法犠牲者での最高齢者であった水谷安子氏が8月20日死去。あと26日で109歳を迎えるところでした。

水谷氏は1933年富山女子師範学校で学んでいる時、マルクス主義の学習をしたことで逮捕され卒業間近で退学になりました。合計3度の逮捕はどれも理不尽な理由でした。「国が謝るまで死ねない」と長生きを健康管理に努めていました。

(神奈川県本部・山崎雅子)

【訂正】

本紙2月号2ページの訃報記事の近江谷昭二郎さんの死亡日を7月2日に訂正します。

事務局日誌

8月3日 北信越ブロック会議
8月4日 「不屈」編集会議
8月8日 会長・事務局会議
8月15日 8・15池袋駅宣伝
8月19日 女性部役員会
8月29日 神奈川県本部総会
8月31日 三役会議

2022年春季号 (43号)

『治安維持法と現代』

好評発売中



【主な内容】＜巻頭論文＞「日本学術会議会員任命拒否から1年半＝広渡清吾、「國體について」＝前川喜平、＜情勢学習＞「維新」自公政権の悪政の中、総選挙躍進の謎＝西谷文和、帰路に立つ「連合」一新会長の野党共闘批判＝青山悠、「歴史戦」とは何か＝そのねらいと歪曲された歴史認識＝山田敬男、改憲策動に立ち向かう構え＝内藤功、岸田内閣の危険な防衛政策、軍拡予算＝千坂純、大自然と県民の闘いが阻む新基地建設＝早坂義郎、《文化・芸術》縄文時代研究＝考古学と唯物史観＝勅使河原彰、日本最古の鉄道遺跡＝山沢猛、さようなら小三治さん、寂聴さん＝澤田勝雄、《治安維持法下の闘い・同盟活動》治安維持法で弾圧された宗教者たち＝後藤太刀味、映画評「わが青春つきるとも」＝伊藤千代子の生涯＝石子順。

治安維持法と現代を結ぶ運動理論誌

定価1000円、申込みは中央本部・各都道府県本部へ。

映画「わが青春つきるとも」

—伊藤千代子の生涯— (試写会) を

鑑賞された方々のご感想・ご意見等をご紹介します。



わが青春つきるとも

福山 京子

この度、伊藤千代子の生涯を映画で観て、百年前にこんなすばらしい女性がいたという事を初めて認識しました。同時代の金子文子と朴烈の映画を以前観ましたが、その時の感動よりも今回の映画の方が、より身近に感じられ、ひとりひとりが生き生きと描かれていた様に思います。

千代子を演じた井上百合子という人は、まさに生き生きと、生身の人間として私の心に響き、恋人であり同志である人から贈られたキキョウの花のような人だと思いました。一輪でもスツキリとまつすぐに立ち、リンとしていて品があります。セリフの一言一言がすみずみまではっきり聞こえ、どの言葉も仕草も千代子の血が通っていました。今後、どのような役をされるのか、とても楽しみです。

今回、時間の都合で前半を少し見損なったので、次回、全編を見るのを楽しみにしています。

またこの度、貴団体の名前を初めて目にしました。私にとって「治安維持法」は歴史上の出来事であり、学校で習った「三・一五」「特高」「小林多喜二」は昔のことだったので、わずか百年前の出来事であり、それが今も続いているとは考えもしなかったことです。皆さん活動をされているのですね。

私は、国民救援会の会員で、大崎事件の原口アヤ子さんの支援をしております。無実の罪を晴らす為、アヤ子さんは四十二年も戦っておられます。千代子さんの命の火は消えてしまいましたが、アヤ子さんの生あ

る内に、冤罪を晴らしたいものです。毎日、祈っています。

映画を観て思ったのは、日本の女性の地位が、この百年の間にどれ位向上したかという事です。

世界中の国々と比較した時に、その低さは信じられないと思います。

ぜひ、若い方達に、この映画を見ていただきたいと思います。

映画の成功を願って

馬場園孝次



盆栽 「柿」

『試写会のある場面のこと』

千代子さんの、多分、数十回の取調べが終わるや、途中「天皇陛下、万才！」と叫ぶ場面があります。

上映以前からこの「叫び」について知っていましたが、イマイチ信用できず、何か権力側のたくらみではないかと思いつけていました。

『治安維持法被害女性の手記の紹介』

○私は北海道で十四歳の時に母親と共に留置所に連行された。「知りません」を繰り返すうち、刑事は私の頬を何回もなぐり、テーブルの上に出した私の手を、やわらかく取ったかと思うと、いきなり鉛筆を私の指に挟み、大きな手に力を込めて握った。私はワッと泣き出した。

(大竹一燈子・九二才)

○治安維持法下で育った私は、一才十一ヶ月の時、母の婦人部の会合の最中に特高に踏み込まれ、母に背負われたまま両国書に留置されました。まさに犠牲者の最年少でした。

(四津谷伸子・九十才)

*「赤旗」

「治安維持法と現代」(季刊)

等参照

そんなこともあり、今回あらためて一九六九年発行の丹野セツさん(渡辺政之輔夫人)による「革命運動に生きる」を読み返してみました。途中、「伊藤千代子さんのこと」の項目が出ていました。その一部を引用させていただきます。

転向が獄内の婦人同志に与えた影響で忘れられないことがあります。ある日突然、獄房の中で誰か、「天皇陛下、万才！」と叫びました。あ、発狂したな、と思い(略)私はすぐトントんと板壁をたたき、合図をして、「今のはだれ？」とききますと「伊藤千代子さん」というのです。(略)本当に伊藤さんはかわいそうでした。

*治安維持法弾圧で重度の拘禁精神病を発症した、伊藤千代子さん以外の女性

○森田 京子(二四才) 学生 (昭和三年)

○中本たか子(二九才) 作家 (昭和五年)

次頁につづく

《おねがい》

ただいま映画の入場券を販売しています。これからの私たちの生き方の指針になる映画だと思っています。

ご自身がぜひ鑑賞されるとともに、お知り合いや若い方々にもおすすめてください。

連絡先 岩切 090・9568・2639

《おわび》

入場券に上映日が印刷されていませんでした。おわびいたします。上映日は次の通りです。

上映日 10月2日(日)

《おしらせ》

映画上映 宮崎サポーターの会開催

日時 9月15日(木) 10時~11時30分(予定)

会場 宮崎市中央公民館 3階 大研修室

*ぜひご出席くださるようお願いいたします。

わが青春つきるとも

松山 結樹

正直、私は映画を鑑賞することに向いていないと思
っている。映画を観た後、数か月にわたり映画のシー
ンが頭から離れず、起きていてもうなされるのだ。今
回は、それがより長く続く予感がしている。

伊藤千代子さんが今の世の中を見たら、なんとおっ
しやるのだろうか。私たちの活動を見てどう感じるの
だろうか、などと思いがらいる。

あの時代からもうずいぶん経っているのに、治安維
持法犠牲者の方々に対し、国は名誉回復も謝罪も行わ
ないままである。

何十年も活動してきたのに私たちを取り巻く社会
情勢は問題だらけだと嘆きそうになる。

参院選の結果に意気消沈する皆に「あの頃から見れ
ばずいぶん進んできた。自分がダメになりそうなとき
話を聞いてくれる仲間もいる。まだまだ大丈夫。これ
からだ」といったひとがいる。

伊藤千代子さん！あなた方が理不尽なつらい思いを
された時代をしつかりと胸に刻み、前に向かいます。



「短歌」

映画 伊藤千代子の生涯

黒木 利忠

*試写会で伊藤千代子と指切りを
「十月二日は皆を誘って」

*特高も慌てふためく監獄で
不屈の乙女ら赤旗の歌